

謹賀 新年

明けましておめでとございます。
令和2年の新春を清々しくお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年、出典を「万葉集」梅花の歌

三十二首の序文「初春の令月にして気淑く風和ぎ」とする新時代「令和」が始まった記念すべき年でありました。

一方で、台風19号により甚大な被害を受けた年でもありました。被災された皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに、引き続き復興に向けて尽力し、災害に強いまちづくりを一層進めてまいりたいと考えております。

さて、本年は、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。

6月26日には市内で聖火リレーも行われます。市民の皆さまとともに盛り上げてまいりましょう。

当市は、モンゴル国柔道ナショナルチームのホストタウンです。当市で合宿をしたモンゴル国の選手たちが、日本武道館で最高のパフォーマンスを発揮できるよう、力強い応援をお願いいたします。

本年が、皆さまにとってよりよい一年となりますよう祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

伊豆の国市長

小野登志子



令和2年の輝かしい幕開けにあたり、市民の皆さまにおかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より、市議会に対し深いご理解と多大なるご協力を賜り、厚く感謝を申し上げます。

はじめに、昨年10月に発生した台風19号により被災された皆さまに、衷心よりお見舞い申し上げます。また、さまざまな形でご支援をいただいた多くの皆さまに、心より御礼申し上げます。

市議会としましても、令和元年11月臨時会、12月定例会において、早期災害復旧を願い、復興支援に関する予算などについて、全会一致で可決してまいりました。今後も市民の皆さまの声をしっかりと聞き取らる中で、地域のためとなる当市の諸課題を、行政と議論を重ねながら、一点二画おろそかにせず、創意工夫と英知を結集して解決に努力してまいります。

本年が、市民の皆さまにとって平穏で幸せな二年であるとともに、被災された皆さまが一日も早く元の生活に戻られることを心より祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。

伊豆の国市議会議長

古屋鋭治